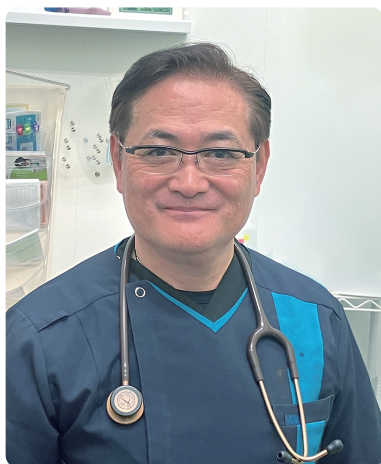


HEART CHECK

# ハートチェック<sup>®</sup> サービス

ハートチェックを健康検査のコースに組み入れて、  
NT-proANPとともに活用しています。

ハートチェックをどのように日常の診察にご活用いただいているのかについてインタビューを実施しました。導入のきっかけや診療への活用法など様々なお声をいただきましたので、ぜひ導入検討のご参考にご一読ください。



2022年12月の開発モニター開始時より導入、運用

## オーシャン動物病院 様

〒438-0045 静岡県磐田市上岡田942-4

院長 音成 伸悟先生

### ご経歴

宮崎大学獣医学科 卒業  
製薬企業安全性研究課、新潟、山梨、福島、静岡の病院で勤務経験を積み、磐田市にてオーシャン動物病院を開院

### Q1 ハートチェック導入のきっかけは？

当院では定期健康検査を年に2回実施しています。その中で定期健康検査に心電図検査を導入したかったのですが、検査にクリップを付けたりするため、飼い主様に承諾が得られにくい面がありました。ハートチェックは立位でクリップなども付けなくて良いので飼い主様の検査を行うことへのハードルが低くなり、健康検査としての心電図測定を導入しやすくなると思いました。また、ちょうどAIが世に出てきて、AIを活用しているということも飼い主様への訴求になると思いました。更に、私が尊敬している東京農工大学福島隆治先生のコンサルタントがオプションで得られることも導入へのきっかけとして大きかったです。

## Q2 ハートチェックをどのように日常の診察に活用していますか？

あくまで健康診断の検査に使用しており、明らかな病気の子には使用していません。健康検査にあらかじめハートチェックを含んだコースを設定しています。ハートチェックで得られた結果からレントゲンなどの精密検査に結び付けるような院内オペレーションを組んでいます。その他、NT-proANPも特殊なアプロチニン採血管が不要なので、作業効率が良い再採血など動物の負担が減るためとても有用ですので、よく測定しています。

## Q3 ハートチェックを飼い主様にどのように勧めていますか？

健康検査を定期的な受けて頂ける飼い主様は健康への意識が高いため、簡単に測定できることと、AIが解析することを訴求するようにしています。

## Q4 測定に関する院内オペレーションで工夫していることはありますか。

測定は獣医師指導のもとで愛玩動物看護師が実施しますが、ハートチェックの結果をそのまま飼い主様にお渡しせず、必ず獣医師の目でも波形を確認したうえで飼い主様にお渡しするようにしています。

AIは便利と考えていますが、上手に使うもので、決して使われるものではない、ということスタッフ全員に十分に説明しています。

飼い主様にも、必要であればできるだけコンサルタントのコメントを受け取るオプションをお勧めしています。



## Q5 ハートチェックを受けられた飼い主様の反応はいかがですか？

レポートを印刷して飼い主様にお渡ししています。レポートが見やすく、記載内容も分かりやすいので評判が良いです。AIが解析していることをもっとアピールしても良いと思います。

## Q6 ハートチェックの測定頻度はどの程度ですか？

年2回の定期健康検査として測定しています。

## Q7 ハートチェックのAI解析結果がもとで、心疾患の発見につながったなどの例はありますか？

いまのところはありませんが、獣医師と飼い主様が将来的な検査や治療についてあらかじめ対話することにつながっており、飼い主様の意識向上にもつながっています。

## Q8 ハートチェック最大の魅力は？

福島先生の頭脳がもとになっているAIが搭載されていることと、波形解析に困ったことがあればコンサルタントが得られることです。コンサルタントのコメントは院内の獣医師の勉強になっています。

またクリップで挟まないでマットの上に立つだけで測定できるという簡便さが、飼い主様の前向きな気持ちを後押ししてくれることだと思います。ご興味のある先生にはぜひお試しされることをお勧めします。